

平成28年度

病害虫発生予察特殊報(第2号)

平成28年 11月 4日

神奈川県農業技術センター

病害虫名：ジニアえそ輪点病（仮称）

病害ウイルス名：*Chrysanthemum stem necrosis virus* (CSNV)

作物名：ジニア（百日草）

1 発生経過

- 平成28年7月に、県東部のガラス温室内で栽培されているジニアにおいて、葉にえそ輪紋症状及びアザミウマの食害痕が散見される株が認められ、当センター生産環境部において、RT-PCRで検定したところ、*Chrysanthemum stem necrosis virus* (CSNV) が検出され、CSNVによるジニアえそ輪点病（仮称）と確認された。
- 神奈川県内ではトマトへのCSNV感染がすでに確認されているが、花き類へのCSNV感染確認は本県では初めてである。

2 病徴および生態

- 葉にえそ輪紋症状（図）が見られる。トマトでは茎えそ症状が見られるが、ジニアではえそ輪紋症状以外の症状は観察されていない。
- 本病原ウイルスは、TSWVやIYSVと同じトスポウイルス属に属し、ミカンキイロアザミウマによって媒介される。
- 寄主作物は、トマト、ピーマン、トウガラシ、キク、アスター、トルコギキョウが報告されている。

3 防除対策

- 媒介虫であるミカンキイロアザミウマの防除を育苗期から徹底する。
- 施設内および周辺の雑草はミカンキイロアザミウマの増殖源となるため、除草を徹底する。
- 施設開口部には、防虫ネット等を設置し、ミカンキイロアザミウマの施設外からの侵入を防ぐ。
- 発病株は抜き取り、土中に埋却するか焼却するなど適切に処分する。
- 栽培終了後は、施設を密閉して蒸し込み、保毒虫を死滅させる。



図 葉のえそ輪紋症状①



葉のえそ輪紋症状②

神奈川県農業技術センター 病害虫防除部
〒259-1204 平塚市上吉沢1617
TEL 0463-58-0333 FAX 0463-59-7411
<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f450002/>